

日本唱歌童謡教育学会
東日本支部 第 1 回
関東地区例会 報告書

日 時 : 2020 年 12 月 26 日 (土) 14:00~16:00

会 場 : 世田谷区砧区民会館 成城木一ル集会室 D

日本唱歌童謡教育学会 東日本支部 第1回 関東地区 例会
例会誌発行について

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
12月26日、日本唱歌童謡教育学会東日本支部第1回関東地区例会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期させていただくことになりました。

つきましては、例会誌を発行させていただくことになりました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、会員の皆様とお会いできますことをお祈り申し上げます。

日本唱歌童謡教育学会
上席理事 山田 真治

目次

会長挨拶		2
研究発表要旨		3
屋 繁男	現サッカー応援歌の惨状から、童謡による応援、 さらに和歌によるイニエスタの碑建立まで	5
山田真治	唱歌・童謡と自律神経の関係性についての一考察 － 交感神経と副交感神経に着目して －	6
山田真治	幼稚園現場で歌われている子どもの歌の現状について － 長野県内の幼稚園を視点に －	7
山藤宏子	言語獲得期における音楽と振りの効果についての検討	8
唱歌・童謡のアゴラ（広場）		9
高橋育郎	唱歌童謡を子供たちに伝えたい	
東日本支部 活動報告		12
設立総会が各紙で紹介されました		13
まつたん かわら版 地域座談会		16
「童謡がなくなる！子どもたちに歌い継ぎたい日本の心」		

令和2年の10月18日に松本短期大学(松本市)で開催された設立総会が出発点となり、日本唱歌童謡教育学会は順調な歩みを始めました。

本日は、東日本支部・関東地区の第1回例会が開かれます。時を移さず例会の開催を実現された関東地区の皆さまにお祝いを申し上げますとともに、開催にこぎつけるまでのご尽力とご努力に対し心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。



唱歌と童謡は、多くの人々の体に幼少時代から沁みついている面があります。したがって、研究対象として「突き放して」考察しようとする、あまりに身近でさまざまな感情が混入するため、冷静で客観的な観察と叙述に悩まされる局面が生じます。なぜ唱歌・童謡はみんなに好んで歌われるのか。特定の童謡がよく歌われるのはなぜか。現在の社会で支配的なリズム感が、唱歌・童謡への嗜好性にどのような影響を与えているか等々の問題に対して、研究者は自分の育った音楽環境と感情を対象化したうえで課題に取り組まなければなりません。自分の感情を「中立化」させて課題に挑むことには、意外にも大きなエネルギーが求められるかもしれません。

この学会に参加される皆さんは、基本的に音楽に、中でも唱歌・童謡に、並々ならぬ愛着を寄せる方々ばかりだと拝察いたします。私たちは、学校での音楽教育とか地域での活動を視野に含めながら、大切な唱歌・童謡を守り将来に向けて発展させるために、無理のない「社会的な仕組みづくり」とそれに伴う運動の創出も課題に含めたいと考えます。学会および学会誌での有益で活発な話し合いを享受しながら、唱歌・童謡に親しむ環境づくりに向けて、一つの「波」を起こしていきましょう！

研究発表要旨

【研究発表】

現サッカー応援歌の惨状から、童謡による応援、
さらに和歌によるイニエスタの碑建立まで

屋 繁男

キーワード：サッカー応援歌 童謡 和歌 イニエスタの碑

1. 唱歌童謡の重要性

童謡は日本人にとって実に大切なものである。仏人にとってのシャンソン米国人にとってのジャズ、アルゼンチン人にとってのタンゴにおけると同様である。

明治維新以降、日本人はキリスト教をほとんど受け入れなかったにもかかわらず、唱歌童謡の源流となる聖歌のメロディを受け入れた。また英国やアイルランドの民族音楽をも当時の音楽家や教育者の努力によって受け入れた。

その結果唱歌童謡は日本人にとって極めて大切なものとなったのではあるが、なぜそうなったのか、またその前の江戸期における、わらべ歌等との関係はどうなったのか、表に出てくる研究が少ないように思われるが、ご存じの方があればご教示願いたい。

かく言う小生も明治の詩人（訳詩者も含めて）が、それなりに質が高かったことぐらいしか今は言えない。ただ、「故郷の空」や「蛍の光」等は今なお唄われる名作もあれば、完全に忘れさられた曲もある。例えば「思ひいずれば」（原曲スコットランド民謡の「ドゥーン川のほとり・Ye Banks and Braes」）などがそうである。恐らくは詩の方の出来がもう一つであったからだろう。

ちなみにこの歌曲を、一昨年の冬インドのカルカッタのレストランのBGMで聞いた。実に懐かしく、インド化された深みのある曲になっていた。ガイドに聞くと、「ベンガルミュージック、ベンガルミュージック」と答えていた。思うにイギリス植民地時代に在印スコット人あたりが唄ったものがそのまま気に入られて、ベンガルミュージックになって取り入れられたものと思われる。そこで小生はこの曲に新たな詩をつけて、日本の唱歌として復活させたいと思い作ったのが以下のよう詩である。

<壊れたはずのオルゴール>

- (1) 懐かしのオルゴール 壊れたはずなのに
突然に鳴りだし 息をひそめて
のぞき込む二才の いたずらな少年
やわらかなり歳月 時はまた流れる

- (2) 古希もすぎ行き うれしき驚き
亡き母のうつし絵 吾孫娘
かの瞳もて 吾をば見つめる
やわらかなり歳月 時はまた流れる

- (3) 朝もやの武蔵野の 林の中を
柴犬のゴンをつれ ゆるやかに歩む
すれ違う人らの 慎ましき微笑
やわらかなり歳月 時はまた流れる

(YouTube にて歌唱を公開)

2. 童謡によるサッカーの応援を勧めた

- ・日本の名曲を避けて欧米のものを使っていた
- ・ヴィッセル神戸は、ピアフの「愛の讃歌」
- ・明大サッカー部に「丘をこえて」「証城寺の狸囃子」→明大卒の古賀正男を誰も知らない
- ・関大サッカー部には「鳩間島小中学校応援歌」「マル・マル・モリ・モリ」を勧めた。それらは実現していないが、「大阪で生まれた女」の替え歌が唄われている
- ・甲子園での「栄冠は君に輝く」は、米国野球場での「Take Me Out to the Ball Game」に勝るとも劣らない→後者は米国の第二国歌とも言われている。「栄冠は君に輝く」も日本の第二国歌と言われてもいい曲である。

3. 和歌による反撃とイニエスタの碑の建立

- ・祐也行けサイド切り裂きクロス上げ ルーツチームの誇りを見せよ
- ・腰骨の痛みもて笑顔でヘッドせよ 小坂よさらばだ少年時代
- ・ラフカディオ・ハーンとイニエスタ来日の意義→日本のみが西洋近代的制度と神話的精神とを両立させている唯一の国、唯一の文明である

「イニエスタが吾等に伝えるサッカーは
超ロングフリックパス イスパーニャの魂振り」

【研究発表】

唱歌・童謡と自律神経の関係性についての一考察

— 交感神経と副交感神経に着目して —

松本短期大学 山田 真治

キーワード：自律神経・音楽構造・バランス

1. はじめに

子どもの歌である唱歌、童謡は、心を豊かにするだけでなく、心身の不調を招くストレスの対策にも役立つということが、近年の研究で明らかになっている。和合治久（前埼玉医科大学保健医療学部教授）氏は、「音楽は、生命活動をコントロールしている自律神経に働きかけ、ストレスで交感神経に傾きがちな自律神経のバランスを整える力になっている」¹⁾と述べ、音楽と自律神経を関連づけている。小林弘幸（順天堂大学医学部教授）氏は、「人の“状態の良し悪し”を左右するのは自律神経であり、“自律神経”をよい状態に保つためには、一に睡眠、二食事、この睡眠や食事と同じくらい影響力を持つのが音環境である」²⁾と述べている。

そのようなことから唱歌や童謡が、人の身体の仕組みにどのような影響があるのかを自律神経の視点から考察してみることにした。

2. 研究の方法

医学的な先行研究の事例を基に、唱歌童謡を音楽構造の視点から分析する。

音楽構造とは、音の pitch、melody の起伏、Tempo の遅速、rhythm を指す。

3. 医学的先行研究の事例

音は、背骨を通し自律神経に働きかけている。アルフレッド・A・トマティス博士（フランスの耳鼻咽喉科医）によると音と背骨に感じる周波数の関係は、胸椎が約 750～2000 ヘルツ、頸椎が約 2000～3000 ヘルツ、延髄が約 4000～6000 ヘルツの音を感じるという。この範囲の周波数は、副交感神経の刺激に有効とされている場所で、胸から首のあたりである。一方、交感神経の刺激に有効とされている場所は、約 250～750 ヘルツの所で腰椎から胸椎の場所と示している。250 ヘルツより低い音は、腰椎より下の仙椎あたりで感じ取っており、更に低い音は振動となって感じているという。

4. 交感神経と副交感神経

自律神経は、交感神経と副交感神経との balan

スが大切である。この2つの神経は環境によって大きく左右され、副交感神経はストレスや加齢によって低下し、日常生活においては交感神経だけが強く働く状態になりやすい。その状態が長く続くと人は不調を招くことになる。

5. 交感神経と副交感神経に効果的な唱歌童謡

医学的な先行研究の事例に基づき、唱歌童謡の楽曲分析を行った結果、次のような曲が効果的な曲として上げられた。

分析方法：音の pitch、melody の起伏、Tempo の遅速、rhythm に視点をおき分析を行った、

交感神経に効果的な歌：水あそび（瀧廉太郎作詩、作曲・幼稚園唱歌）、あめふり（北原白秋作詩、中山晋平作曲・童謡）

副交感神経に効果的な歌：たこのうた（尋常小学読本巻二所載・唱歌）、揺籃のうた（北原白秋作詩、草川信作曲・童謡）

また楽曲に関係なく、好きな曲については、意識する状態に引張られるので高揚感が高まり交感神経が高まるといわれている。

6. 考察、まとめ

医学的な先行研究を基にまとめてみると、唱歌童謡には、副交感神経に働きかける要素が多様に含まれていることが明らかになった。副交感神経に効果的なのは、高い音、音程の起伏が激しくないなだらかなメロディーの楽曲、また rhythm おいては、付点が少ない穏やかな楽曲である。そのような視点から見ると、唱歌童謡はメロディーラインの起伏が少なく、なだらかな楽曲が多い。また、周波数に限らず、音楽の「揺らぎ」も副交感神経には効果的であると明らかになった。今後は更に数多くの唱歌童謡を分析し、自律神経との関係性を明らかにしていきたいと考えている。

【参考文献】

- 1) <https://health.suntory.co.jp/professor/vo131/#top> 2020年10月25日 アクセス
- 2) <https://sound-design.usen.com/feature/column/column02.html> 2020年10月25日 アクセス

【研究発表】

幼稚園現場で歌われている子どもの歌の現状について

— 長野県内の幼稚園を視点に —

松本短期大学 山田 真治

キーワード：子どもの歌・分析・傾向

1. はじめに

現在、保育士、幼稚園教諭の養成校で教鞭を執る中、幼児教育現場では、唱歌や童謡が歌わなくなっているように感じる。唱歌童謡には、子どもの心を育むための大切な教育内容があり、発達段階においても大変重要なものであることは、近年の研究でも明らかになってきた。そこで本研究は、幼児教育現場における唱歌童謡の使用度の現状を調査し、子どもたちは園でどのような曲を歌い、どのような割合で唱歌や童謡を歌っているのかを分析することにした。また合わせて大正時代の童謡運動で作られた歌、戦後の童謡、楽曲の調性にも視点をおき、その傾向を明らかにすることにした。

2. 研究の方法

【研究場所】

長野県内の幼稚園、48園で実施

【研究期間】

平成29年、30年、令和元年の6月～7月

【研究方法】

A短期大学2年生100名が、教育実習で使用した歌の楽譜の写し、または原譜を学生一人一人から提出してもらい分析する。

3. 分析

学生から提出してもらった楽譜を使用頻度の高い曲から低い曲、幼稚園別の使用曲数、楽曲の調性、大正時代の童謡運動に作られた曲、戦後に作られた童謡に分け分析を行う。

4. 分析結果

学生が3年間で出向いた幼稚園は、延べ48園あった。その中で4園については、歌の指導を行わなかったので使用曲は無いとの報告を受けた。実際には44園での分析になった。

44園で歌われた歌の総数は125曲であった。唱歌童謡で頻度の1番高かった歌は、文部省唱歌「かたつむり」、(明治44年5月尋常小学唱歌(1))に掲載、16の園で歌われていた。2番目に頻度が高かった歌は、戦後の童謡で「雨降りくまのこ」(鶴見正夫作詞、湯山昭作曲、昭和37年作曲)、

10の園で歌われていた。3番目に頻度が高かったのは、文部省唱歌「とけいのうた」、「明治43年尋常小学読本唱歌」、9の園で歌われていた。この曲は、文部省編纂による「尋常小学読本」(巻4所載)の中にあつた韻文教材をとり作曲されたものであった。(その他の曲についての頻度は、資料を参照)

園別の使用曲数については、1曲から20曲と幅が広く、園の特徴が出ている。

楽曲の調性については、ハ長調、ニ長調、ヘ長調、ト長調、変ロ長調が圧倒的に多く、他に変ホ長調が10曲、変イ長調が1曲であった。

大正時代の童謡運動で作られた歌については、「シャボン玉」(野口雨情作詞、中山晋平作曲)の1曲、4の園で歌われていた。戦後の童謡については、「あめふりくまのこ」(鶴見正夫作詞、湯山昭作曲)、「手のひらを太陽に」(やなせたかし作詞、いずみたく作曲)、「ありさんのおはなし」(都築益也作詞、渡辺茂作曲)、「犬のおまわりさん」(さとうよしみ作詞、大中恩作曲)、「おつかいありさん」(関根栄一作詞、團伊玖磨作曲)、「おもちゃのチャチャチャ」(野坂昭如作詞、磯部信義作曲)、「シャベルでホイ」(サトウハチロー作詞、中田喜直作曲)、「めだかの学校」(茶木滋作詞、中田喜直作曲)の8曲であった。

5. 考察、まとめ

学生の実習時期が6月から7月ということもあり、頻度的には「かたつむり」の歌を取り上げる園が多かった。季節が関連していたものと考えられる。幼稚園別の使用曲数については、園の音楽に対する度合いの入れ方の格差と推察する。楽曲の調性については、子どもの発声音域を考慮したものと考えられるが、演奏する教諭の力量に合わせ、原曲から編曲された曲も見受けられた。大正時代の童謡運動に作られた歌については殆ど入って無く、戦後に作られた童謡については、総曲数の0.6%にしか過ぎなかった。今後は更に詳細な分析をし、子どもたちの教育的な歌を明らかにしていきたいと考えている。

【研究発表】

言語獲得期における音楽と振りの効果についての検討

松本短期大学 山藤宏子

キーワード：幼児 うた遊び 言葉 振り 手話歌

1. はじめに

保育の現場では、手遊び、歌、リズム体操などが日常の活動の中に数多く取り入れられている。秦ら(2017)は、保育現場で見られる「うた遊び」は、歌を通して身体を動かしながら音楽感覚や生活習慣を育てているものとしている。音楽を介したコミュニケーションには、人と人との関わりを容易にする機能があり、乳児の行動は生得的に音楽性が備わっているという指摘もある。

(Trevathen& Maloch,2009.根ヶ山ほか訳,2018)

乳幼児のうた遊びには、「手遊び」に代表されるような「振り」が付けられているものが多く、近年では「手話歌」も盛んに取り入れられている。言葉話す前の子どもの意思や感情を理解するための方法として、手話の手法を用いてコミュニケーションを図ろうとするベビーサイン(Baby Signs)は、単に単語としてだけでなく意味全体を表現できる文章の機能も果たし、自発的に象徴的身振りを使うようになった子どもとの意思の疎通に効果があるという。(赤津ら,2010) なお、手話歌に関しては、聴覚障がい者には意味が伝わらないものが多いといった議論もある。本研究では、「手話」を歌詞に対応した「振り」と位置付けて検討を進めるものとする。

2. 目的

本研究では、象徴的身振りから言葉を獲得しようとしている幼児の発話行動に、「音楽」と「振り」の要素を持つ「手話歌」がもたらす影響を検討することを目的とする。

3. 研究の方法

対象児は2歳1ヶ月の女児A。幼児の言語発達の目安として、1歳6ヶ月から2歳は「これ ちょうだい」「ワンワン いる」などの二つの単語を組み合わせた二語文を発する段階とされているが、当該児は単語も含め、まだ一語も発していない。

女児Aが楽曲「赤鼻のトナカイ」(前奏から1番終了までの1分01.9秒)に対応している様子を録画し(使用機器:JVC EverioGZ-HM438)、動画分析ソフトELAN 5.9を用いて身体動作、手話的動作、発声のタイミングを明らかにする。

4. 結果

歌詞は26の手話単語で表されており、女児Aはそのうちの17の単語で手話的動作を行っていた。

手の動き以外には、身体全体を横、縦に揺らす動作が観察され、これは前奏、付点二分音符に相当する手話的動作に合わせた場面、さらに手話単語が2語以上つながって素早い動作が求められ、手話的動作が間に合わない場面で表出していた。発声は22回確認できた。発声と手話的動作の関係に注目すると、17の手話的動作のうち13で手の動きより早いタイミングで発声が表れた。

5. 考察・今後の課題

歌詞に合わせて手話的動作を行おうとする姿勢からは、言葉と振りが対応していることを理解していることが推測できる。曲(歌詞)を聴いて、発声の後に手話的動作が出現するケースが多いという結果は、歌っているつもり、あるいは歌いたいという能動性を伺わせる。また、手話的動作と連動していない5回の発声は全て付点二分音符に相当する部分で表出しており、楽曲を記憶して発声しているという解釈ができる。単語に対応している手話を使う手話歌は、音楽と振りの両面から幼児の能動性を引き出し、発話行動に効果的な影響をもたらす可能性があるのではないだろうか。

しかしながら、本研究は1児のみのデータ分析であり、言語獲得期の幼児に手話歌が何らかの刺激をもたらすかもしれないと言う可能性が示唆されたに過ぎない。今後は、より多くのデータ収集と、月齢、言語発達の段階、性別等を考慮した詳細な分析による検討を重ねていきたい。

6. 参考文献

赤津純子,三浦香苗(2010)集団保育に取り入れられたベビーサインに関する研究,Annual Bulletin of Institute of Psychological Studies, Showa Women's University, Vol.12, 39-49.

秦昌子,梶間奈保(2017)幼児教育における子どもの歌遊びの研究と課題,人間と文化,p81-87.

梶間奈保,小池美和子,居原田洋子(2020)島根県立大学松江キャンパス研究紀要 Vol.59,p33-38,乳幼児の音楽的コミュニケーション概念の開発ー音楽的発達に関する先行研究を踏まえた手遊び研究の意義ー.

マロック,S&トレヴァーセン,K(2009)根ヶ山光一,今川恭子,志村洋子ほか監訳(2018)絆の音楽性つながりの基盤を求めて,音楽之友社.

唱歌・童謡のアゴラ（広場）

— 自由にお考えをお寄せください —

唱歌童謡を子供たちに伝えたい

認定芸術員 高橋 育郎

作家の鈴木三重吉が童謡を思い立ったのは、我が子が誕生した時に、情操豊かな子供に育てたいとの親心からだった。

そうした観点からあたりを見回した時、三重吉には納得のいった歌や童話が見当たらなかった。そこで思い立ったのが月刊誌の「赤い鳥」の発刊だった。大正7年7月だった。この三重吉の思いに賛同して多くの文人が参集した。中で詩人として傑出していたのが北原白秋、三木露風、西条八十だった。

三重吉は結局、白秋に的をあて、当時欧州帰りの新進気鋭の西条八十を選んで、この二人を投稿詩の選者にした。「赤い鳥」は、大正ロマンの時代背景のなかで、予想外の人気を博し、野口雨情は「金の星」と結び、これも功を奏し、童謡は全国津々浦々に広まっていった。ここで目指したのは人間の心情に訴えた芸術童謡だった。

こうした事例は世界になく、日本が世界に誇る文化であるといえる。その点を私は強調したい。

さて、本題に戻すが、私は昭和一桁最終の年に生まれた。当時は大正のおもおかげが色濃く、明治の建物も多く残っていた。車はほとんどなくて、子供たちは道で羽を伸ばして遊んでいた。「子供は風の子」と言われ、大人は子供が外で遊んでいるのを、目を細めて喜んでみている。

そうした環境の中で子供たちの遊ばしは、わらべ歌が中心だった。そして雨の日は家の中で童謡を歌った。これが、いうなれば子供たちの遊びのスタイルだ。外での遊びは、まずは「鬼ごっこ」と「かくれんぼ」だ。5～6人が集まると、リーダー格が「鬼ごっこするものこの指とまれ」と人差し指を立てて呼びかける。すると子供たちはその指をつぎつぎと握り、重ねていく。皆が重ね終わったらリーダーは「ばらりこせ」といって、つぎに「ジャンケンポンよ あいこでしょ」と、じゃんけんをして、負けたものが鬼になる。そして一斉にそれぞれが逃げ出し、鬼は後を追いつまえる。

わらべ歌では、「かごめ」「開いた 開いた」「通りゃんせ」「今年の牡丹」「花いちもんめ」「いちかけにかけて」などで、子供たちはその都度臨機応変に「さあ、何をしよう」と相談してきめた。夏は「水鉄砲」や川へ行っての泳ぎだ。家の中では「ずいずいずっころばし」「あずきがゆ」など。それから折り紙、ぬりえ、双六、綾取り、影絵などをした。お手玉は、家の内外でやった。女の子は野原へ行って「花摘み」をよくやった。そして「お手つつないで」を歌いながら帰るのだった。それから「縄跳び」に加えて女の子は「ゴム段」を。男の子は相撲の時期には「相撲」を。それから「馬飛び」「おしくらまんじゅう」だ。

正月になると、外では「凧揚げ」「羽付き」が盛んになる。家では「福笑い」「百人一首の坊主めぐり」などだ。普段は「縄跳び」「ゴム段」「竹馬」「石けり」「めんこ」「ビーダマ」「ベーゴマ」「おはじき」が多かった。

「石けり」や「ビー玉」などは、駄菓子屋へ買に行った。「ぬりえ」や「おりがみ」などもあった。駄菓子屋でのお小遣いは、1銭から多くて5銭だ。ローセキを買ってきて、これで地面に「一銭貰ってパン買って」を歌いながら、女の子の顔の絵を描いた。「へのもへじ」の顔も描いた。ほかにケンケン遊びの輪を描いたり、さまざまに役立てた。

こうした遊びの風潮は戦後3・4年に及んだ。そしてなぜか「あんたがたどこさ」がはやった。男の子は竹馬と野球だ。しかし時代の変化は著しく、子供の遊びも変化していった。童謡も然りである。特に戦後になって少女雑誌と相まって童謡豆スターが続々誕生し、いまでいえばアイドルだが、童謡ブームを巻き起こした。しかし次第に商業的色彩が強まって衰退していった。特に昭和30年代になってテレビの普及と、一方ゲーム機の普及、更には車社会になって、子供たちから本来の遊びを奪いとった。この傾向は、いまますます色合いを濃くして、かつて「子供は遊びの天才」と言われた子供の特性までを奪ってしまったのだ。確かに子供たちは広場に出て遊んではいるが、「キョーキョー」声を張り上げ、追いかけてっこはしているものの、そこには遊びのルールらしきものは見当たらない。それから昔と違って、たとえ小さな公園でも、ぶらんこ、すべりだいなどの遊具は備わっている。でも、「遊びの天才」としての面からみて、どれだけ有効に使って楽しんでいるのだろうか。

文明の利器であるテレビやゲーム機は、子供本来の遊びを貧しいものにしたといえる。

と言った次第で、子供たちには、子供の心情に訴える童謡を教えて、豊かな情操を取り戻してあげたい。いま子供たちは童謡を教えてもらっていないのだ。

大人が子供を思って作った歌のジャンル童謡は日本が世界に誇る文化であり、これを残すためにはまず、大正時代の芸術童謡と言われた童謡を無形文化財として登録したい。いかなるものか。こうしたことも童謡に世間の注目を集める手段になり得るのではなかろうか。それから積極的に保育園、幼稚園、小学校に赴いて、唱歌・童謡を教えることが大事と思う。

ところで、私は地元でシニア童謡の会に加入しているが、当会は毎年地元の保育園とコラボして、童謡を歌っている。去年は保育園からの要望に応え「わらべ歌」で遊んだ。また、かつて保育園で歌の会をやっていたことがある。そのときイベントを開催し、テレビ局が取材にみえて放送した。

今後、唱歌・童謡を広めるためには、話題性をつくって、マスメディアに働きかけ、取り上げてもらうことが肝要と思う。

いうまでもなくマスメディアの力は大きいのです。その力を活用することが肝要と思う次第です。 (以上) 2020・12・15記

東日本支部 活動報告

2020年10月18日 設立総会

各紙で紹介されました。

和2年)11月5日(木曜日) 言宣 壹 衆所 屋門

学ぶ育む

唱歌や童謡教育現場で

学会設立検定や講習会検討

教育現場で唱歌や童謡を歌う環境を作っていくと、「日本唱歌童謡教育学会」が設立され、10月18日に事務局がある松本短大(長野県松本市)で設立総会が開かれた。

唱歌や童謡は、親しみやすいメロディーと美しい言葉で子どもたちの心を育んできた。小学校では、授業で一定の有名な曲は歌うが、合唱コンクールでは新しい歌に取り組み傾向にあり、接する機会が減っているとされる。家庭も同様だ。

学会は教育関係者や作曲家、演奏家、研究者ら役員や会員を迎え、全国各地の唱歌・童謡作家の記念館とも連携する。来年度中に学生や教員を対象に歌唱指導者の資格検定を実施。正しい知識を広めるための童謡検定や学校や幼稚園の歌唱指導者向けの講習会、小中学校への出前授業も検討する。来春には研究論文を掲載する学会誌も発刊する予定だ。

問い合わせは事務局(0263・58・4660)。

読売新聞 全国版

13 長野県報 2020年(令和2年)10月19日(月曜日) 中 日 衆所 屋門

唱歌や童謡 教育の場に

松本で学会設立総会

唱歌や童謡の継承を目指す全国組織「日本唱歌童謡教育学会」の設立総会が十八日、松本市宿賀の松本短大で開かれた。

近年歌う機会が減っている唱歌や童謡を子どもたちに受け継ぐため、研究や指導者育成などを進めようと、八月に設立。県内をはじめとして、東京都や愛知県など十一都県の研究者や指導者らが所属する。

会長に就任した松本短大の木内義勝学長は「唱歌や童謡には音と言葉の基本が込められている。教育の場

山田教授の伴奏に合わせてハイオリンを演奏する白沢さん。松本市宿賀の松本短大で。

の活動はたくさんあるが、やはり減り続けている。これまでの地盤を教育現場で生かす社会的仕組みをどう構築していくかが重要」と語った。

今後は、研究会や演奏会、指導者講習などを全国で開くほか、来年度からは日本唱歌指導者検定と童謡検定も実施する予定。全国にある関連の記念館などの連携も図る。

総会では、同学科一年の白沢美尋さんが、代表的な童謡「シャボン玉」「ふるさと」をハイオリンで演奏した。

学会は引き続き会員を募っている。問い合わせは事務局(0263(58)4660(竹内なま)

「起こるべくして起きた」

千曲川決壊 歴史研究会が見解

沼地区で活動する歴史研究会は十八日、国土交通省の資料などを基に「決壊は地形や堤防の構造など複数の要因が絡み合い、起こるべくして起きた」とする研究結果を発表した。研究会の

昨年十月の台風19号による豪雨で決壊した千曲川の堤防について、長野市の長

東京新聞・中日新聞

唱歌や童謡

次代へ継承

子どもたちが唱歌や童謡に親しむ環境をつくらせ、日本唱歌童謡教育学会が発足し、18日に事務局がある松本短大（松本市）で設立総会が開かれた。童謡検定や歌唱指導者向けの講習会を通じ、子どもたちに歌い継いでもらえる教育現場での取り組みを進める。



童謡のバイオリン演奏も行われた日本唱歌童謡教育学会の設立総会（松本短大で）

学会設立 検定や講習会検討

唱歌や童謡は、親しみやすいメロディーと美しい言葉で子どもたちの心を育んできた。小学校では、授業で有名な曲を歌う機会が多いが、合唱コンクールでは新しい歌に取り組み傾向にあり、接する機会が減っている。家庭も同様の傾向にあり、学会の会長を務める木内義勝・松本短大理事長は、設立趣意書で「あまり歌わなくなっている」とし、

「中山西平記念音楽賞」を50年以上続けている中山西平記念会の郷道隆昭会長（64）は「現状では子どもたちの心に唱歌や童謡が十分届いているのが疑問。学会の成果を地域の活動に生かしていきたい」と話す。

設立総会には会員約15人が集まり、今後の活動方針を確認した。学会の上席理事を務める松本短大の山田真治教授（59）は「子どもたちが歌いたいと思うような仕組みを作っていきたい」と語った。

問い合わせは事務局（0263・58・4660）。

読売新聞

唱歌や童謡の継承を目指す全国組織「日本唱歌童謡教育学会」が松本市内で設立された。学会の設立理由や教育における唱歌童謡の大切さについて、発起人で同市の松本短大幼児保育学科教授の山田真治さん（59）に聞いた。（中津芳子）

日本唱歌童謡教育学会の発起人 松本短大の山田教授に聞く

歌で優しさ育まれる



設立理由を教えてください。唱歌童謡が歌われなくなっています。昔は親子で歌ったり、学校で覚えたりしていました。今は社会構造が変化した。家族のスタイルも変わった。学校の芸術教科の時間も削減されている。歌い継ぐ活動は私も含めて全国で大勢の人たちがやっていたのに、歌う機会が減っている。だからこそ組織をつくり、社会的な責任を担って歌い継ぐために、学校で覚えたり、社会で歌う機会を確保しなければいけないと結論づけました。

「仕組みと環境とは、いろいろな立場の人に学べる、音楽家なら演奏会の曲に童謡で日本舞踊を踊らせたい」と、山田教授は語ります。

「これからの展望は、唱歌童謡は素晴らしい先人たちが残してくれたもので、次の世代へ歌い継ぐのが、日本の文化。全国の皆さんと連携しながら、松本から発信し、もう一度教育に取り入れていきたい。教育は、優しさや命を大切にすることを育んでいくものだから、

やまだ・しんじ 名古屋出身。幼少期からピアノを始め、同市の同朋高校、名古屋音大でピアノを専攻。卒業後は3年間の演奏活動の後、名古屋音大大学院で音楽教育学を学ぶ。大学院入試の論文で唱歌童謡と出会い、歌い継ぐ活動を継続中。中京大、至誠館大（山口県）を経て2016年から現職。

「松本市の松短大で童謡歌を歌い継ぐ活動を続ける山田教授」

目の中に組み込んでもらう。歌に触れる環境をあらゆる場所で見たい。小さな動きが大きくなっている。世の中を愛していることが大切。なぜ子どもたちに必要なのだろうか。歌は心を育みます。例えば「めだかの学校」一采木滋作詞、中野喜直作曲。この歌が2016年に出た。一回目は元気な歌。一回目はお魚さんが怖くないようにと小さく歌った。この歌が、優しさが育まれるきっかけです。

継承へ社会的な仕組みと環境築く

中日新聞 長野全国版

中信

童謡唱歌 歌い継ごう

研究者や合唱団の「学会」松本で設立総会

県内外の研究者や合唱団などが任意団体「日本唱歌童謡教育学会」をつくり、松本市の松本短大で18日、設立総会を開いた。子どもたちが多様な音楽ジャンルに囲まれ、音の雰囲気である童謡唱歌を歌う機会が減っている」と説明し、幼稚園や学校関係者らに参加を呼び掛ける。来年度、学生らを対象にした指導者検定や、教育や介護関係者向けに知識などを問う童謡検定の取り組みを始める予定。



松本短大の学生による唱歌の演奏もあった設立総会

指導者養成や検定 計画

61の個人・団体が構成し、総会には20人近くが出席。会長に就いた同短大の木内義勝学長は「唱歌や童謡によって音の基本だけでなく、日本語の美しさを学ぶことができる」とあいさつした。指導者養成の講習会や、童謡唱歌の知識をまとめたガイドブックの作成といった活動内容を確認した。

学会事務局で同短大の山田真治教授（音楽教育学）は「唱歌や童謡を子どもたちに受け継ぐための社会的な仕組みを構築したい」と説明した。同教授は2018年に発足した一般社団法人「日本童謡学会（東京）」の発起人の一人で、日本唱歌童謡教育学会については、特に教育分野での活動に力を入れたいとしている。

信濃毎日新聞

唱歌童謡教育学会が発足

松本 日本の文化 子供に継承へ

唱歌や童謡を研究し、継承する日本唱歌童謡教育学会の設立総会が18日、松本市市営の松本短期大学で開かれた。日本の文化である楽曲を子供たちへ受け継ぐため、仕組みを構築するのが目的だ。研究者や小中学校、保育・幼児教育の現場で働く人に参加を呼び掛ける。

日都府県の61の個人・団体が発足した。総



学生によるバイオリン演奏も披露された総会

会は16人が出席し、事業計画を決めた。会長には幼児保育学科のある松本短大の木内義勝学長が就いた。事務局は松本短大に置く。木内学長はあいさつで、唱歌や童謡を教える機会が減ったと懸念を示した上で「唱歌、童謡は優しさや思いやりが内に込められている。（歌詞に生き物や風景が登場するため）自然に目を向ける機会になる」と魅力を語った。

（浅井文人）

松本市民タイムス

まつたん かわら版 第1号

笹賀の皆さんには、学生がいつもお世話になりありがとうございます。

今年はコロナ禍の下で普通だと思っていた生活が遠のき、日々の挙動にも細心の注意が求められています。松本短大は、毎年、3学科がそれぞれ工夫して「公開講座」を開いてまいりました。残念ながら現今の状況では、それも叶いません。そこで、地域の皆さまに向けて情報のご提供を考え「カベ新聞的」な情報紙を発行させていただくことにしました。少しでもお役に立ていただければうれしく思います。

松本短期大学 学長 木内義勝

— 地域座談会 —

童謡がなくなる! 子どもたちに歌い継ぎたい日本の心

座談会参加者

笹賀地区福祉の地域づくり協議会長 太田尚行さん、ママの音楽隊ぴあのん代表 永井知可子さん
松本短期大学学長 木内義勝、松本短期大学幼児保育学科教授(子どもの音楽表現担当) 山田真治



三世代の活動は伝統行事が中心

山田 最初に、笹賀地区での子どもに向けた活動を教えていただけますか。

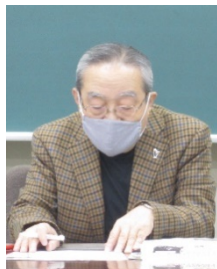
太田 去年、各町会の活動を調査しました。季節の節目の行事、例えば、夏祭りや三九郎、餅つき大会などは世代を越えて、それぞれの町会で集まってやっていることがわかりました。

山田 その調査はどうして行ったんですか？

太田 祖父母、両親、子どもの三世代が地域の活動の関わっているのを見直してみようということですね。それで、伝統行事が中心に行われている事が分かったんですが、これだけでは、今の子どもたちには十分ではないだろうということで、新しいことも始めています。

木内 それは、どんな？

太田 モデル地区として二美町2丁目では、学校が早く終わる水曜日の3時から公民館を開放して、子どもたちが集まって遊んだり、宿題をしたりできる場を提供しています。歌に関する活動は「歌声ひろば“ささが”」や福祉ひろばを使った集まりをやっています。



山田 歌う集まりには子どもたちも？

太田 これは、お母さんや高齢者が参加していますね。

永井 私は笹賀に住んで8年ほどになります。子どもが小さいうちはいろいろなサークルがあるのですが、音楽を取り入れている所は少ないと感じていました。



唱歌や童謡を知らない子どもたち

山田 大人が懐かしいと思って歌うだけではなく、子どもたちに歌い継いでいかないと、童謡や唱歌が歌われなくなっていってしまうんですね。

永井 小学生になれば、歌集に唱歌が載っていますね。

木内 どのものが載っていますかね？

永井 「赤とんぼ」や「茶つみ」などの歌が。わらべうたはリトミックで取り入れているケースが多いです。松本エリアは、唱歌や童謡を意識して取り入れようと考えている音楽関係者が多

いのではないかと思います。

太田 自分が子どもの時には、学校で教わったから歌えるようになったということではないと思う。童謡しかなかった時代だったってことかもしれないけれど、大人になって聴くと、歌詞が心に沁みて、とても価値があると感じますね。

山田 「めだかの学校」を作った中田喜直先生は、今の子どもはどこに行ってもテレビやラジオで情報が入りすぎる、その時代を何とかするのが大人の役目だとおっしゃっていました。大人が環境を整えていかなければいけないということですね。

木内 都会では「運動の家庭教師」というのがあるそうですね。昔だったら、子どもは身体を動かして遊ぶのが当たり前だった。今は意図的に場を作る必要があるということなんでしょうね。



太田 親子で歌うことが大切だと思うんですよ。親だけでもダメ、子どもだけでもダメで、親子で歌える機会を作りたいです。

木内 童謡はメロディーと言葉がやさしいですね。

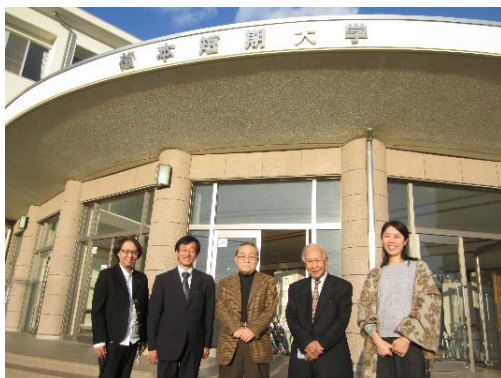
山田 子ども目線で書かれているからだと思います。

太田 年を取ってから聞くと、涙が出てきます。まずは親子で歌う楽しさを知ってもらうような企画ができるとよさそうですね。

永井 高校に音楽を教えに行くと、高校生はほとんど童謡や唱歌を知りません。

山田 保育の現場でも、若い先生は知らない人が増えてきています。

永井 今は忙しいお母さんも多いので、教育現場で教えてくれる人を育てるということも大切かもしれませぬ。



太田 小学校や幼稚園、保育園で歌ってほしいですね。

山田 以前、小学生に「シャボン玉」を教えたことがあって、その時に歌詞の意味を教えたんですね。詩の解釈には諸説ありますが、作詩をした野口雨情は、生まれた娘さんが1週間で亡くなってしまった。やっと産まれて、屋根まで飛んだのに、壊れて消えてしまった娘さんを想って作った歌なんだよと。すると、3年生の男の子が「亡くなったおじいちゃんを思い出した」って、授業の終わりに言ってくれたんです。童謡を通して、命を感じてくれたんですね。

太田 日常で、そういう機会が増えてほしいですね。



歌声よ響け 笹賀から！

山田 唱歌や童謡を「良い」「残したい」と思っている人はたくさんいるので、それを実現するための形を作っていきたいですね。伝えたいと思っている大人の気持ちを実現化するには、どのような取り組みをしていったらいいのでしょうか。

永井 育休を取ってる最中の教員や音楽関係者もいるので、笹賀地区の地域の方の力をお借りすれば何か発信できるのではないのでしょうか。

木内 本学には保育士を目指す200人の学生もいますし、日本唱歌童謡教育学会も立ち上げました。

山田 童謡や唱歌を子どもたちに残していく地域の取り組みができるといいですね。「笹賀モデル」とでも言いましょうか。

永井 今年はできなかつたけれど、次年度の公開講座で取り上げてもいいですね。

山田 地域のみなさまと学生と一緒に、唱歌や童謡を歌い継いでいく活動ができるよう、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新たな形での地域交流「まつたん かわら版」第1号。いかがでしたか？
来月は看護学科が「**新型コロナウイルス禍における看護学科の現状と取り組み**」というタイトルで第2号をお送りする予定です。
「まつたん かわら版」に、ご感想やご希望をお寄せください。

e-mail:mjc-gakuseibu@matsutan.ac.jp

松本短期大学地域交流委員会
委員長 生田恵津子



MATSUMOTO JUNIOR COLLEGE

松本短期大学

日本唱歌童謡教育学会

日本唱歌童謡教育学会

東日本支部第 1 回関東支部例会報告書

発行日：2020 年 12 月 26 日

発行元：日本唱歌童謡教育学会 東日本支部